



2024年度（令和6年度）

事業報告

2025年7月1日

長野地域脱炭素実現推進協議会



2024年度（令和6年度） 事業報告 <まとめ>

- 2024年度は、長野市&長野地域脱炭素実現推進協議会にて申請を行った「環境省 地域ぐるみでの脱炭素経営支援体制構築事業」に採択され、環境省・ポストンコンサルティンググループの支援も受けながら活動を実施。
- 2023年度取組終了時の会員企業からのアンケートでの、“座学としてのセミナーに加えて、会員企業同士にて悩みを共有し、一緒に創りあげるセミナー・ワークショップの開催も希望”という意見をふまえ、3回に亘る“人事採用責任者向け”経営戦略としての脱炭素推進が採用に好影響をもたらす企業価値向上セミナー・ワークショップ”を開催。

2023
年度

- 長野地域脱炭素実現推進協議会設立
- NAGANOスマートコミッション 令和5年度 実証プロジェクト「CO2排出量見える化と脱炭素推進」（現 長野市 経済産業振興部 所管）
- 脱炭素経営の普及啓発/企業向けアンケート実施
- 地域由来の「地中熱」「地下水熱」エネルギー紹介

CO2排出量「見える化」

- 協議会には50社・団体が参加
- CO2排出量見える化は23社が実施
- 見える化23社のScope1・Scope2のデータによる分析・仮説策定提言

脱炭素経営セミナーの実施

- 「脱炭素・GX実現がもたらす具体的・直接的な企業&地域価値向上への期待」
講師：三菱UFリサーチ&コンサルティング株式会社 フェロー 吉高 まり 氏
- 「省エネ」セミナー：省エネルギー技術
- 「創エネ」セミナー：新規脱炭素ソリューションの紹介

2024
年度

2024年7月 長野地域脱炭素実現推進協議会総会

- 64の企業・団体が参加
- 「会長職」「副会長職」を設置し、“産学官金”での支援体制構築
- 経済産業省 基調講演「CO2排出量削減をベースとした製品・商品・サービスの具体的なGX価値とその重要性」

CO2排出量「見える化」

- 長野市温室効果ガス排出量見える化・削減支援事業補助金交付支援事業連携
長野市 環境部 環境保全温暖化対策課
- 「見える化」実施企業20社
（協議会運営費の関係から、見える化企業全社を統合した全体分析は実施できていない）

環境省・地域ぐるみでの脱炭素経営 支援体制構築事業 採択

- 全国10都市の中の一つとして採択される
- 11/6 中間報告会 1/29 最終報告会
- 地域ぐるみでの支援体制構築ガイドブック（令和6年度版）では、好取組地域として長野市の取り組みが紹介される
https://www.env.go.jp/press/press_04924.html

人事採用責任者向け 脱炭素経営セミナー

- 経営戦略としての「脱炭素推進」が採用に好影響をもたらす企業価値向上セミナー・ワークショップ開催
- Day1 10/16 Day2 11/8 Day3 12/11
- 大学生・大学院生も参加してのワークショップ
- 3回合計延べ 企業33社・学生14人参加

GX推進モデル企業輩出プログラム

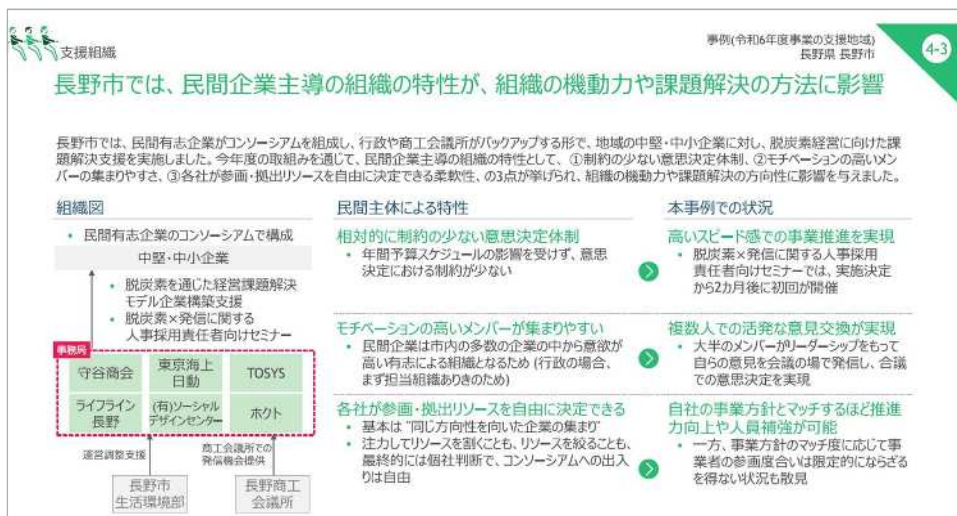
- 経営課題解決のための「脱炭素経営」推進のディスカッションを実施
（GXエンゲージメントディスカッション）
- 「売上UP」「コスト削減」「人材採用・人材定着」等の経営課題から考える脱炭素経営
- 「経営戦略」としての脱炭素化と「事業活動」としての脱炭素化について整理

環境省 重点対策加速化交付金 事業エントリ

- 12/10 CO2排出量削減ソリューション技術説明会実施
- 3/10 脱炭素ソリューション提供企業3社にて環境省へ計画申請書提出
- 2025年6月11日 不採択通知

「環境省・地域ぐるみでの脱炭素経営支援体制構築事業」に“採択”される

- ・ 2024年7月1日に長野市は「環境省・地域ぐるみでの脱炭素経営支援体制構築事業」において全国10都市の一つとして採択されました。
- ・ 2025年5月19日に公表された 環境省「地域ぐるみでの支援体制構築ガイドブック（令和6年度版）～地域で脱炭素経営を推進する意義～」では、“民間企業主導の組織の特性が組織機動力や課題解決の方法に影響（長野市）”として紹介されております。



資料掲載先
環境省「地域ぐるみでの支援体制構築ガイドブック（令和6年度版）～地域で脱炭素経営を推進する意義～」
https://www.env.go.jp/press/press_04924.html

3

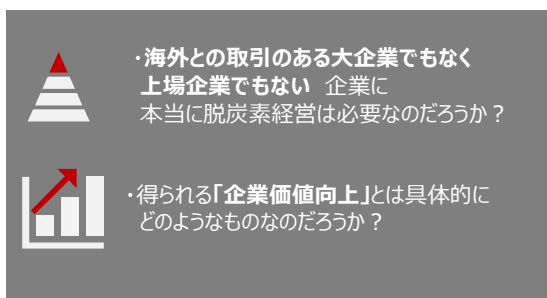


【2024年度の重点取り組みを考えるにあたっての課題】

2023年度取組終了時：「次のステージに進んだ」とことで分かった次の課題

2023年 取組推進前の課題

長野地域脱炭素実現推進協議会 設立前の課題 2023年7月当時



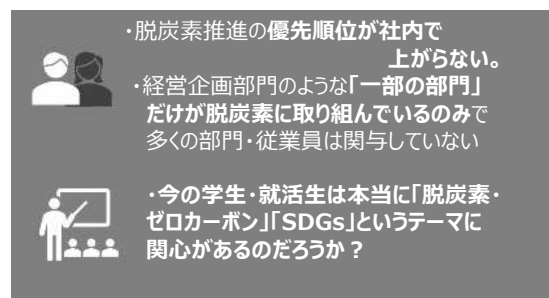
事業規模関係なく、
すべての企業にメリットあり

企業価値向上＝売上高向上、収益性向上、ウェルビーイング、
採用増、イノベーション創出、ビジネスモデル変革
組織活性化、女性の活躍推進、etc.

大学生までの「SDGs」「脱炭素」等の
教育機会が増え、採用に好影響を与える

2023年度 取組終了時の課題

長野地域脱炭素実現推進協議会 1年度目終了時の課題2024年3月当時



2024年度の重点取組として設定

「採用強化」・「GX推進モデル企業輩出」

- ・ 経営戦略としての「脱炭素推進」が採用に好影響をもたらす企業価値向上セミナー・ワークショップの開催
- ・ 「GX推進モデル企業輩出プログラム」の展開

4

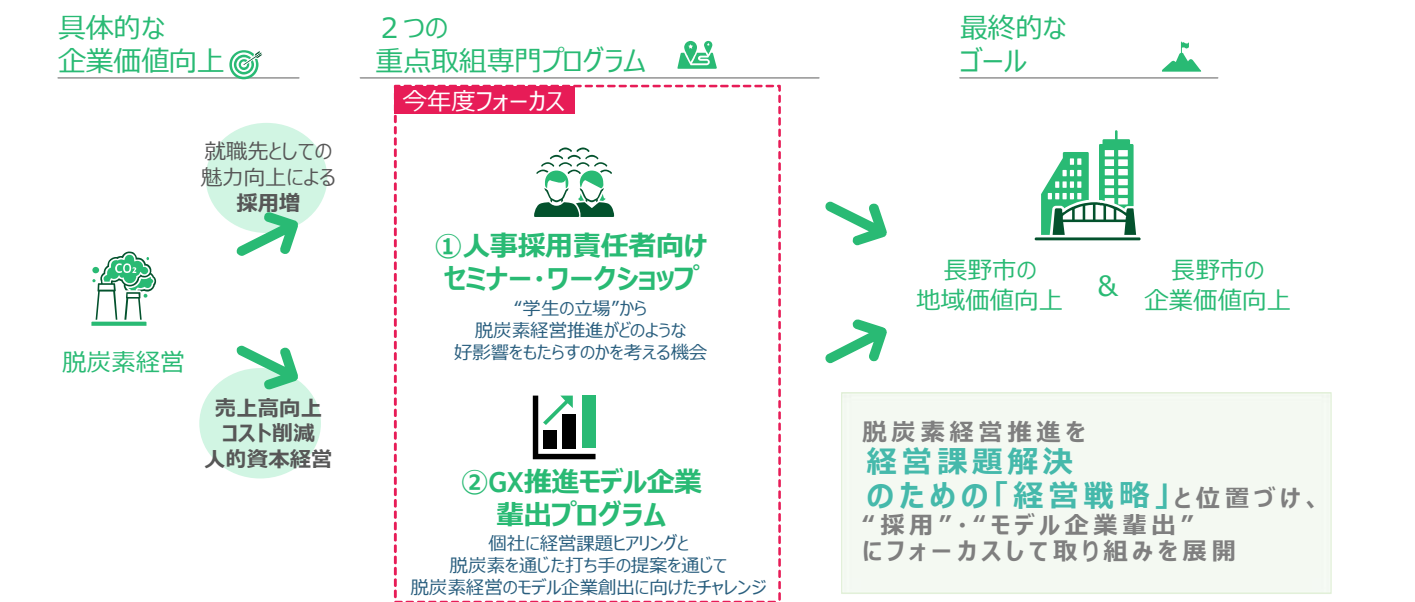


2024年度は

・ 人事採用責任者向けセミナー・ワークショップ

・ GX推進モデル企業輩出プログラム

を重点取組専門プログラムとして展開致しました。



経営戦略としての「脱炭素推進」が採用に好影響をもたらす企業価値向上セミナー・ワークショップ

人事・採用部門/責任者限定 専門プログラム

経営戦略としての「脱炭素推進」が
採用に好影響をもたらす
企業価値向上セミナー・ワークショップ

採用活動に好影響をもたらすために
「3回」のセミナー・ワークショップにて実践的な脱炭素経営採用をお伝え致します

Day1

カーボンニュートラルの基本を
学ぶ

✓ 脱炭素経営の重要性
カーボンニュートラルレッスン

✓ 脱炭素経営推進による
採用好事例企業紹介

✓ 自社に脱炭素実現の
ソリューションがない場合
脱炭素経営が可能な
ソリューション・セミナー

10月16日(水)
14:00~16:30

Day2

学生の「教育」「価値観」を
知る

✓ 現代の学生が考える
「良い企業」「良い地域」

✓ 「学生」から学ぶ
ゼロカーボン・地域貢献

✓ 「先生」から学ぶ
ゼロカーボン・地域貢献

11月8日(金)
14:00~16:30

Day3

自社の強みを採用活動に
繋げる

✓ 学生と共に考える
「魅力的な企業」の
発信方法

✓ 学生とともに考える
「新成長機会の可能性」

✓ 脱炭素経営をベースとした
採用活動・採用計画への
ヒント

12月11日(水)
14:00~16:30

日時

10月16日(水)
14:00~16:30

11月8日(金)
14:00~16:30

12月11日(水)
14:00~16:30

場所

長野市芸術館アクトスペース

主催

長野市 長野地域脱炭素実現推進協議会

学生が考える「良い企業」「良い地域」
を通じて “教育” “価値観” を知ること
で
脱炭素経営推進による 採用力強化 を
考える機会としました。

内容

Day1

・ カーボンニュートラルの基礎
・ 脱炭素を採用に結び付けた好事例

Day2

・ 学生アンケートの紹介
・ 脱炭素×就職先のパネルディスカッション

Day3

・ 脱炭素×発信のグループディスカッション

登壇者・主な参加者

・ 協議会・BCG
・ 雲南市・雪ヶ谷化学工業

・ BCG
・ 大学生（信州大学、
長野県立大学、東京大学院）

・ 大学生
（信州大学、長野県立大学、
長野高専）

6

「GX推進モデル企業輩出プログラム」 経営課題を解決するための脱炭素経営推進

- ・ GXエンゲージメントディスカッションでは、企業のビジョンや経営課題、現在の販売マーケットなどをヒアリングしながら、ディスカッションを実施致しました。
- ・ “自社の商品・製品・サービスが既に脱炭素に貢献できるものであり、「GX」×「レジリエンス」（防災・BCP etc.）での価値がお客様に高く評価される可能性 / 全く新しいイノベーションが必要なのではなく、既存の事業における「GX価値」を考え、ストーリーにて企業の事業価値を伝えることの重要性などの気づきがあった”との企業の経営陣からのコメントを頂いております。

*「オンサイト株式会社さん」で実施したディスカッション

GX推進モデル企業 輩出プログラム

オンサイト株式会社

脱炭素経営を通じて実現するビジョン（ヒアリング内容から）

- ・ 地球環境をより良くしたいという自社のビジョンがあり、事業の機会。
- ・ 高品質の脱炭素製品を顧客に提供するために利用可能な小型EVはビディ分野でのリーダーシップを確立したい。
- ・ 自身より自社に貢献する「仲間」を増やしていきたい。
- ・ 木で作ったものは、再度、地球に還元（削減されるため）木材の多いオフィスにしたい。
- ・ 環境に良い、地球にやさしい会社を確立したい。

脱炭素推進ソリューション

- ・ 小型EVの活用
- ・ 株式会社ベークラフ 長野県販売代理店（中国製）
- ・ 株式会社 フレックス 正社（中国製）
- ・ ガソリン不要/車検不要/車庫証明不要

CO2排出削減方法の明確化

- ・ 移動、通勤・通学は化石燃料を使用しないこと。したがって、Scope 1・2においてほとんどゼロに抑えられる。
- ・ Scope 1・2 算出し

排出削減実績と取組価値による独自価値創出

- ・ 他業種からの取り組み評価はできていない
- ・ 「売ることにより」価値が伝わるような施策展開をしていきたい

第1回ディスカッション 事務局アドバイス

- ・ 「限られた区域」「特定の区域」での利用であれば、利用が促進するのではない。例えば、地域限定（必要範囲）の地域での利用が促進される可能性がある。
- ・ 大規模・小規模の企業であっても、同じような課題意識が強いことが多く、大規模工場など所有する企業における脱炭素化の取り組みは進んでいる。
- ・ 「フルバリュー」はカーボン（カーボン）ではなく、作業車としての導入促進が望ましい。
- ・ 高品質なワークスペースの脱炭素化の取り組み。一般道路を脱炭素化する取り組みは進んでいるが、これに課題を抱えている可能性がある。
- ・ 小型EVはビディ分野で自然とGXのCO2削減によって完成し、それが脱炭素化・脱炭素化の価値を生み出す。小型EVの導入によって、導入企業へのGXの価値が伝わる。GXの価値が伝わる。GXの価値が伝わる。
- ・ ネットワークの活用と連携。GXの価値が伝わる。GXの価値が伝わる。GXの価値が伝わる。
- ・ 商業施設の脱炭素化。GXの価値が伝わる。GXの価値が伝わる。GXの価値が伝わる。
- ・ パネルがGXの価値を生み出す。GXの価値が伝わる。GXの価値が伝わる。GXの価値が伝わる。

そもそも企業の「脱炭素経営」とは企業経営の一種であり、単なる脱炭素化ではない

脱炭素経営の意義

- ・ 経営戦略の刷新
- ・ 経営課題の明確化
- ・ 経営課題の解決

経営課題の明確化

- ・ 経営課題の明確化
- ・ 経営課題の解決
- ・ 経営課題の解決

「脱炭素経営」を通じて、売上UP・コスト削減及び経営資本に関する経営課題解決の機会を見出す

経営課題の解決

- ・ 経営課題の解決
- ・ 経営課題の解決
- ・ 経営課題の解決

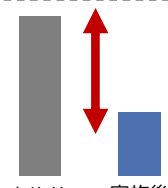
7



CO2 排出量見える化

- ・ （長野市 環境部 環境保全温暖化対策課）長野市温室効果ガス輩出量見える化・削減支援事業補助金交付支援事業にて連携を実施しております。
- ・ 「CO2排出量見える化」実施企業は、20社。

CO2 排出量 可視化の価値



ScopeごとのCO2排出量の発信・開示とともに「どのような取り組みによって削減したのか・削減の取組を行っているのか」の“発信”“公開”“開示”が価値を生みます。

CO2 排出量可視化発信企業例

2024年11月8日開催 “経営戦略としての「脱炭素推進」が採用に好影響をもたらす企業価値向上セミナー・ワークショップ Day 1”での雪ヶ谷化学株式会社による説明資料より

2-2 | 削減ターゲットの特定

自社のCO2排出量をより詳しく知るために、事業所単位や事業活動単位で分析してみよう。削減目標を設定することも可能。グラフ化して比較することで、削減目標に対する進捗の把握が容易になる。

削減目標を設定することも可能。グラフ化して比較することで、削減目標に対する進捗の把握が容易になる。

3-1 | 削減計画の策定

自社のCO2排出量を分析し、削減目標を設定してみよう。削減目標を設定することで、削減目標に対する進捗の把握が容易になる。

削減目標を設定することで、削減目標に対する進捗の把握が容易になる。

CO2 排出量

2023年達成率 14.6%

2023年CO2排出量の内訳（単位：t-CO2）

事業所	2023年	2022年	2021年
事業所A	477.9	532.4	581.1
事業所B	753.4	780.4	762.1
事業所C	762.1	780.4	762.1

8



- ・ 2024年12月10日に CO2排出量削減ソリューション技術説明会実施（36名参加）し、2025年3月10日に 脱炭素ソリューション提供企業3社にて環境省へ計画申請書提出。
- ・ 2025年6月11日 不採択通知がありましたが、継続して申請にチャレンジしたいと思います。

重点対策加速化事業 事業概要

不採択

長野県長野市：長野市ゼロカーボン実現加速化プロジェクト



事業計画の特徴

- 自治体新電力会社「ながのスマートパワー株式会社（NSP）」と連携し、電力の地産地消を促進する。学校施設に太陽光発電設備をPPA方式で最大限導入し、自家消費分を除いた余剰電力は、NSPを介し、別々の公共施設に供給する
- 民間企業で構成された「長野地域脱炭素実現推進協議会」発の脱炭素ソリューション技術を実施し、市内の中小企業に多く利用されることで、地域経済の活性化につなげる
- 長野地域に豊富に賦存する「地下 waters」を、建物の空調・給湯に利用し、事業活動から排出されるCO₂を削減
- 「信州の屋根ソーラー認定事業者」と連携した一般住宅への自家消費型太陽光発電設備・蓄電池及び高効率給湯器の導入拡大

事業計画の効果・費用

再エネ導入	CO2削減	事業費	交付金額	計画期間
6,341kW	60,372 t-CO2	31億円	11.7億円	令和7年度 ～ 令和11年度

取組のイメージ

長野市における重点対策加速化事業のイメージ



Appendix

地方在住 高校生/全国 大学3年生・4年生を対象とした
「企業の脱炭素取り組み」に関するアンケート

地方在住 高校生/全国 大学3年生・4年生を
対象とした「企業の脱炭素取組み」に関するアンケート



アンケート概要		地域別の回答回収数	
内容	企業の脱炭素取組みに関するアンケート	高校生 (16~18歳)	北海道 78 東北 134 茨城県, 栃木県, 群馬県 109 新潟県, 富山県, 石川県, 福井県, 山梨県, 長野県, 岐阜県, 静岡県, 三重県 249 滋賀県, 奈良県, 和歌山県 61 中国 116 四国 57 九州 230
実施期間	2024年10月26~28日	大学3-4年生 (20~22歳)	北海道 39 東北 60 関東 386 中部 180 関西 183 中国 56 四国 24 九州 107
調査対象	地方在住高校生 ¹ 全国大学3-4生	合計: 2,069	
調査方法	インターネット調査 (株式会社マクロミルのアンケートパネルを使用)		

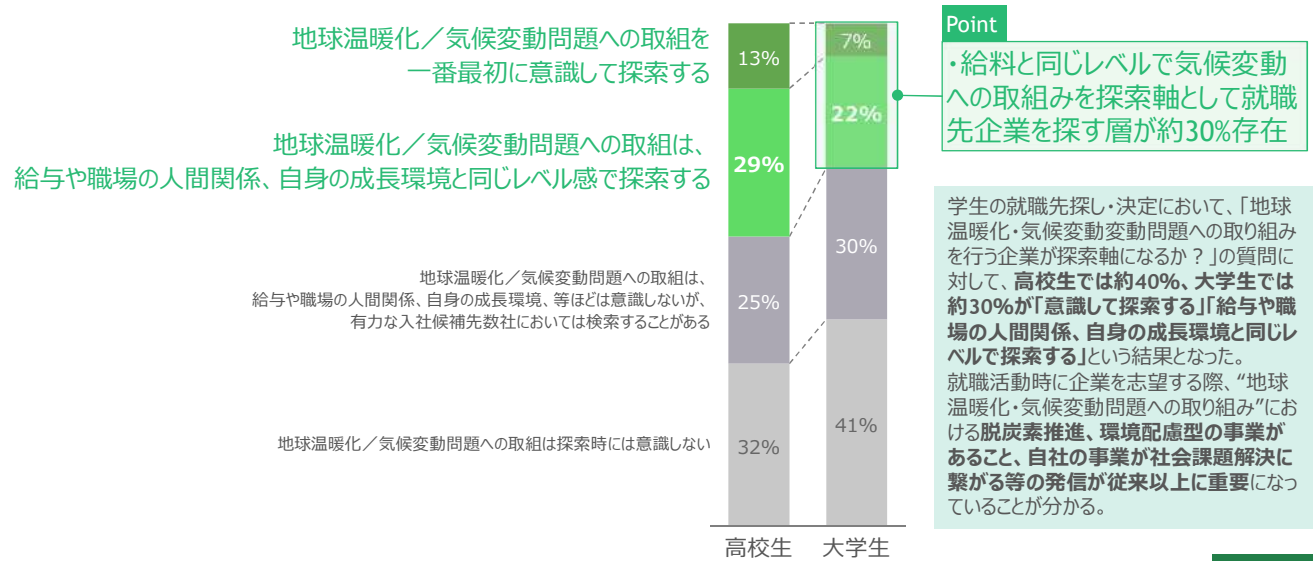
1. 東京都, 神奈川県, 埼玉県, 千葉県, 愛知県, 大阪府, 兵庫県, 京都府を除く

※環境省「地域ぐるみでの脱炭素経営支援体制構築モデル事業」採択により、BCGが実施した調査データです。

BCG作成
アンケート*

Q：就職する企業を探す場合において、地球温暖化／気候変動問題への取組は
企業の探索軸になりますか。

- ・就職先企業の探索軸として「給料と同じレベルで気候変動の取組を捉える」層が約30%存在。
- ・高校生はより意識が高く、今後より重視される予兆も存在。

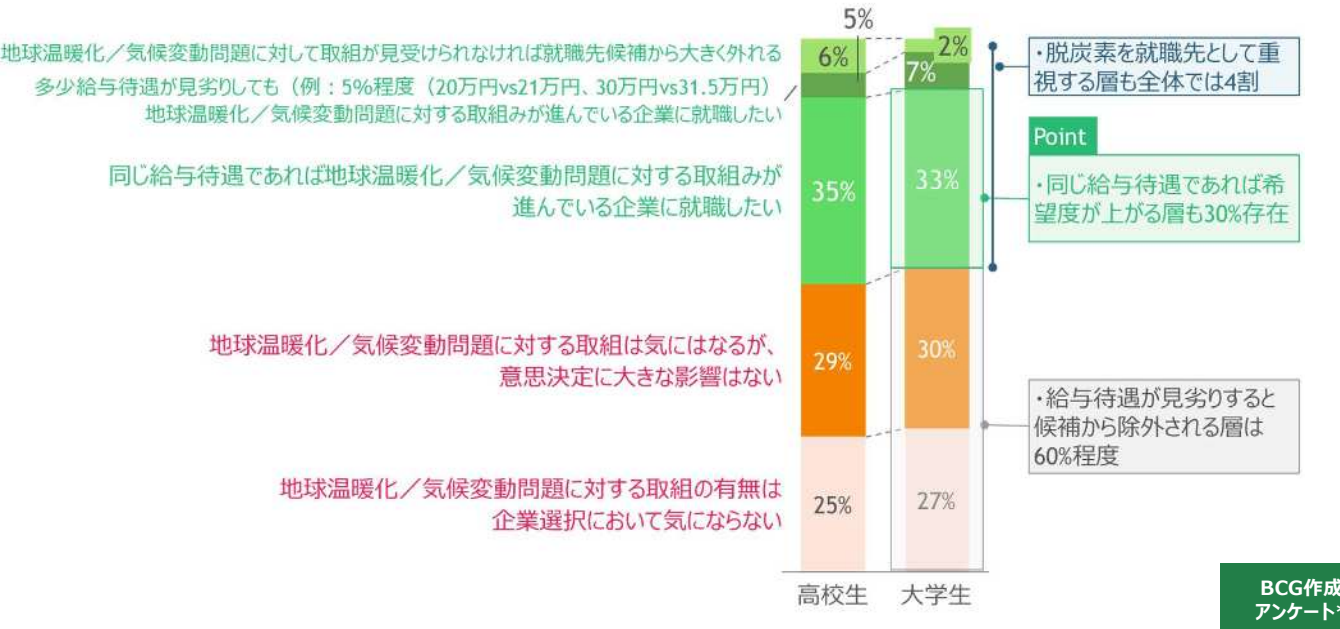


BCG作成
アンケート*

*出所：環境省「地域ぐるみでの脱炭素経営支援体制構築モデル事業」採択により、BCGが実施した調査アンケート
長野地域脱炭素実現推進協議会 2024年11月8日開催「経営戦略としての「脱炭素推進」が採用に好影響をもたらす企業価値向上
セミナー・ワークショップ Day2」での説明資料より 東京海上日動がコメントを追加。

Q：就職する企業を選択する場面において、地球温暖化／気候変動問題に対する取組をどの程度意識しますか。

「同じ給与待遇であれば地球温暖化・気候変動問題に対する取組が進んでいる企業に就職したい」という割合は、大学生では33%、高校生では35%に上った。上記に加え、大学生においては、「地球温暖化・気候変動問題に対して取組が見受けられなければ就職先候補からは外れる（2%）」「多少給与待遇が見劣りしても地球温暖化・気候変動問題に対する取組が進んでいる企業に就職したい（7%）」を加えると、「地球温暖化・気候変動問題に対する取組が進んでいる企業を就職時に意識する層」は、実に42%にも上ることが分かった。加えて、高校生においては、その層が46%にさらに上がり、SDGs・社会課題解決・地域貢献への「教育」「価値観」が若い世代においても浸透しつつあることが推察された。



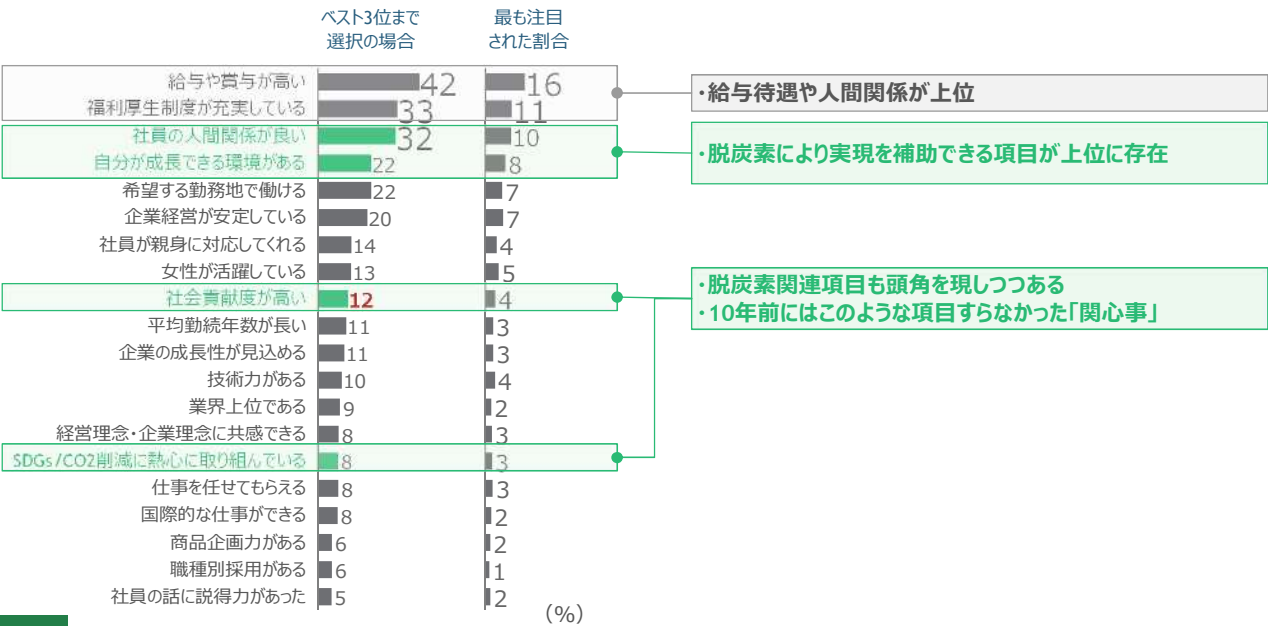
*出所：環境省「地域ぐるみでの脱炭素経営支援体制構築モデル事業」採択により、BCGが実施した調査アンケート
長野地域脱炭素実現推進協議会 2024年11月8日開催「経営戦略としての「脱炭素推進」が採用に好影響をもたらす企業価値向上セミナー・ワークショップ Day2」での説明資料より 東京海上日動がコメントを追加。



Q：就職先の企業を選ぶときに、あなたが特に注目するポイントを必ず3位までお答えください。

※CO2削減を必ずしも意識せずにフラットに考えた場合としてお答えください

- ・（ベスト3位までの選択の場合）においては、「社員の人間関係が良い」「自分が成長できる環境がある」「女性が活躍している」という項目については、ウェルビーイングに繋がる内容と考えることができる。
- ・「技術力がある」「業界上位である」というポイントよりも、「社会貢献度が高い」というポイントが注目されている。

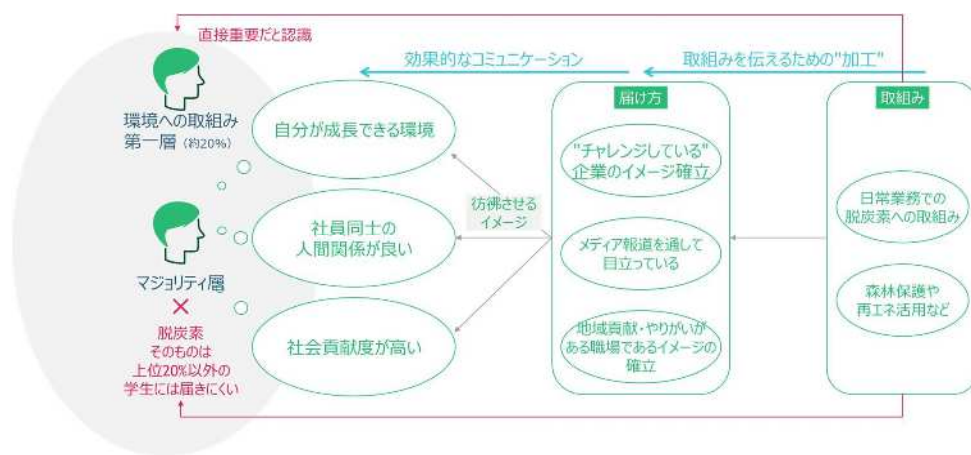


出所*：環境省「地域ぐるみでの脱炭素経営支援体制構築モデル事業」採択により、BCGが実施した調査アンケート
長野地域脱炭素実現推進協議会 2024年11月8日開催「経営戦略としての「脱炭素推進」が採用に好影響をもたらす企業価値向上セミナー・ワークショップ Day2」での説明資料より 東京海上日動がコメントを追加。



学生に選ばれる自社の事業の価値の「届け方」

環境への取り組み第一と考える20%以外の層に対しては「成長環境」や「社会貢献度」を彷彿とさせるような届け方が重要



【アンケート全体としてのポイント】

学生の就職先探し・決定において、脱炭素を重要視する先進層が30%存在

- 給料と同じレベルで気候変動への取組を就職先企業の探索軸として捉える層が約30%存在
- 同じ給与待遇であれば気候変動取組をしている方が就職先としての希望度が上がる層は30%存在。給与待遇以上に重視する層も約15%存在

ただし、まだ多くを占める「環境への取り組み第一」ではない層を踏まえると、脱炭素そのものだけではなく、「成長できる環境」や、「社会貢献」、「働きがいある職場」に変換して届けることが重要

- どの層に対しても企業ブランドや企業文化、森林保護など目に見えて分かる取組みが重要
- 気候変動問題への取組みだけで就職先希望度の影響として届く層は20%程度で、成長環境や地域貢献といった届け方に乗せることが重要

BCG作成
アンケート*

出所*：環境省「地域ぐるみでの脱炭素経営支援体制構築モデル事業」採択により、BCGが実施した調査アンケート
長野地域脱炭素実現推進協議会 2024年11月8日開催「経営戦略としての脱炭素推進」が採用に好影響をもたらす企業価値向上
セミナー・ワークショップ Day2”での説明資料より 東京海上日動がコメントを追加。

15



長野地域脱炭素実現推進協議会にご参画頂くメリット

プロジェクトが目指すもの Goals of the project

地域脱炭素推進による 企業の価値向上&長野市の地域の価値向上

CO2排出量可視化／



具体的なCO2削減方法の選択肢を増やすため情報、長野地域由来のエネルギーに関する情報、脱炭素経営に取り組む企業、団体の情報の収集が可能です。

企業価値向上／



本協議会での活動を通じて脱炭素経営推進の発信が可能となります。2024年度は具体的な採用活動に繋げるための人事・採用責任者向けのセミナーも実施致しました。

GXエンゲージメント／



「長野地域脱炭素推進BOARD」とのGX対話（エンゲージメント）による情報提供を行います。事業規模に関わらず様々なソリューションの情報提供が可能です。

長野市 環境部によるCO2排出量可視化クラウドサービス利用における補助金を活用できます。

「イノベーション創出・ビジネスモデル変革」を見据えたゼロカーボン・脱炭素のみをゴールとしない取り組みにより、“採用活動への好影響”にも繋げていきます。

長野での地域脱炭素推進が

企業の価値と地域の価値向上に繋がり

住む人 来る人 ワクワクする街 長野を実現します

長野地域脱炭素実現推進協議会事務局

<https://n-board.org/> ←HPからご入会手続きが可能です

【お問い合わせ先】
〒380-8533 長野県長野市南千歳町878番地
TEL 026-480-0068 n.board@moriya-s.co.jp

16

